

成長のテキスト

「母の日：熱心に祈るハンナ」

I サムエル記 1:1-20

2020.5.10 HKJCF

1

概観

母の日にふさわしい人物、祈りの戦士として有名なハンナについて学ぶ。祈りの重要性と人生の優先順位を学びたい。

アウトライン

- | | |
|-----------|--------|
| 1. ハンナの家族 | V1-8 |
| 2. ハンナの姿勢 | V9-16 |
| 3. ハンナの信仰 | V17-20 |

2

1. ハンナの家族 V1-8

- 1) エルカナ:「神が所有された」; エフライムの地域のレビ人; 二人の妻; 毎年シロ(40km)で礼拝; ハンナを愛し、慰めようとした。
- 2) ハンナ:「いつくしみ」; 子宝に恵まれなかった; 神の恩寵から外れていない(ミリヤム、デボラ); 信仰者の女性として(テス 2:3-5)。
- 3) ペニンナ:「サンゴ」; 二番目の妻; おそらく子孫のために結婚; ハンナをいらだたせた。
- 4) 理解してもらえない辛さ: 神に、夫に。

3

2. ハンナの姿勢 V9-16

- 1) 泣いて祈る: 復讐せずに、心の痛みをただ主に。涙: 憐れみの主の心を捉えるカギ。
- 2) 誓願して祈る: 取引ではない; 「万軍の主」、「その子の一生」、「かみそり」= 生涯ナジル人として(民数記 6:1-8); 大きな犠牲。
- 3) 心の内で祈る: 聖書初のサイレント祈禱; 天の父に向って捧げる(マタイ 6:5-8)。
- 4) イスラエルとエリの霊性: 酔っ払いの誤解; 霊性の停滞(士師 21:25); 祈りが稀になった。

4

3. ハンナの信仰 V17-20

- 1) 祭司の祝福: 仲介者の働き(ヤコブ 5:13-16); 祝福を宣言(解放、癒し、回復、赦し、力)。
- 2) ゆだねていく: 神と祭司に対する信頼; 顔つきと食事= 引きずらない、囚われない信仰。
- 3) 具体的に行動する: 祈るだけではない; 夫との関係の回復; 期待をもつ重要性。
- 4) 主の恵みを覚える: サムエル=「神の名」;
① 神への愛 ② 夫への愛 ③ 子供への愛。
マリヤの賛歌のモデル(I サムエル 2:1-10)。

5

適用

① 祈りを通して主との関係を深められる:

ハンナはだれにも理解してもらえない、心の中にある思いをひたすら主に訴えて、主はハンナの依頼を実現してくださった。

② 祈りを通して主のご計画に参加できる:

サムエルの出産を通して、イスラエルの信仰と国家として、リバイバルがもたらされることになった。

6